

東讚地域統合高校基本設計の概要

1. 東讃地域の統合高校整備について

- 東讃地域の中学校卒業生数の減少は県内の他の地域よりも急速に進んでおり、部活動や学校行事を含む生徒の多様な学びのニーズに応えられ、多様な価値観を持つ生徒たちが切磋琢磨できる、より良い教育環境をできるだけ早く整備する必要があった。
- 県立高校のあり方について、令和元年9月定例会において、石田高校、志度高校、津田高校については、農業科、家庭科、工業科、商業科、普通科の特色ある教育を活かし、これらをさらに発展させるため統合し、新たな高校を設置したい考えを示した。
- 令和2年3月に策定した「魅力あふれる県立高校推進ビジョン」において、「高校で育成すべき資質・能力」と「推進する教育活動」について方向性を示すとともに、その必要な教育環境の整備の1つとして「東讃地域の再編整備」を掲げた。
- 「県立高校の魅力化に関する協議会」や「東讃統合校に関する懇談会」の意見を踏まえて、令和3年3月に東讃地域の新しい統合高校の教育内容等の大枠（グランドデザイン）を策定した。
- 令和4年8月に新たに設置した「東讃統合高校開校準備委員会」では、この「グランドデザイン」を具体的な教育内容にしていくため、学識経験者や地域の方々のご意見を伺いながら、石田高校、志度高校、津田高校3校の伝統を土台に新しい学校を創っていくという視点のもと、開校前の令和11年度まで新しい教育内容等について検討を進める。
- 生徒の成長を促す特色ある学びを充実させるため、また、地域を活性化する活動の展開や地域活性化につながる人づくりのため、学校と地域が一体となったコンソーシアムを創設し、地域の方々と共に多様な教育活動を展開するなど、子どもたちが進学したい、保護者が通わせたいと思える高校、地域活性化の核となる高校を目指し、東讃地域の新しい統合高校を整備する。

【主な経緯】

年 月	内 容
H30.10	「東かがわ・さぬき地域の今後の県立高校の在り方に関する懇談会」を設置
R元.9	石田高校、志度高校、津田高校を統合し、新たな高校を設置する考えを表明
R2.3	「魅力あふれる県立高校推進ビジョン」を策定し、東讃地域の再編整備を盛り込む
R2.5	「県立高校の魅力化に関する協議会」を設置
R2.6	「東讃統合校に関する懇談会」を設置
R3.3	「東讃地域の新しい統合高校のグランドデザイン」を策定
R4.6	さぬき市造田地区を整備候補地として令和10年4月の開校を目指すことを表明
R4.8	「東讃統合高校開校準備委員会」を設立
R4.10～ (～R6.3)	地形等測量、地質調査（造成用）、土地境界調査、建物等調査、不動産鑑定評価、交通量調査、環境調査
R5.3	さぬき市造田地区内の約62,000㎡を計画校地にすると表明
R5.11	開校時期を令和12年4月に変更すると表明
R5.12	「東讃統合高校整備基本計画」を策定
R6.3	2月定例会 財産取得議案（62,714.28㎡）承認、土地売買契約（地権者50名）締結
R6.6～R6.9	地質調査（造成・建築用）
R6.11	埋蔵文化財調査（試掘）
R6.12	農地法に基づく農地転用及び都市計画法に基づく開発行為の同意（許可）、用地取得（所有権登記）、埋蔵文化財調査（本掘）開始
R7.3	造成工事実施設計、建築基本設計を完了
R7.5～	造成工事に着手

工程計画

	令和4年度			令和5年度								令和6年度								令和7年度								令和8年度								令和9年度								令和10年度								令和11年度								令和12年度														
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7																		
各種設計	基本計画 11.0											基本設計 14.0							実施設計 17.0								グラウンド等設計 7.0								★開校																																							
	造成設計等 16.0								変更設計		埋蔵文化財調査 23.0								造成工事等 28.0								グラウンド工事等 6.0																																															
造成工事 など																																								埋蔵文化財調査 23.0								造成工事等 28.0								グラウンド工事等 6.0																		
建築工事 など																																																								学校建物建設工事 23.0								外構工事 6.0								開校準備 4.0		

2. 東讚地域統合高校基本設計の概要

(1) 建設の主旨

さぬき市にある石田高校、志度高校、津田高校の3校を統合して整備する高校について、グラウンドデザインに示した「夢をかなえ、地域を支え、未来に羽ばたく」人材を育成できるよう、また、地域の方々に愛される学校となるよう、教育環境を整備する。

(2) 建設場所

さぬき市造田

(3) 設置学科及び学校規模等

①開校予定年月日 令和12年4月1日

②学校規模等

課 程	学 科	学級数
全日制	普通科	開校時8学級規模
	農業科	
	工業科	
	商業科	
	家庭科	

(4) 主要施設整備年次計画

年度	整 備 計 画
7	埋蔵文化財調査、造成工事、建物実施設計
8	埋蔵文化財調査、造成工事、建物実施設計
9	造成工事、建築工事
10	建築工事
11	建築工事

(5) 校地面積

約63,220㎡

(6) 主要施設

施設名
校舎
工業棟
体育館
多目的ホール
柔剣道場
弓道場
農業本部
食品加工実習室
農業施工実習室・造園施工実習室
ライスセンター・出荷調整室・出荷調整管理室
資材室
コンソーシアム施設
体育倉庫・部室・WC
自転車置場
設備棟
温室

※施設規模については、実施設計の中で確定する。

(7) 地域連携スペースについて

コンソーシアムの拠点となる場所として地域連携スペースを設ける。

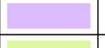
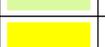
地域連携スペース内施設
1 コンソーシアム施設
(1) 食堂
(2) 販売所・展示スペース
(3) ものづくり工房
(4) 地域連携室
2 多目的ホール

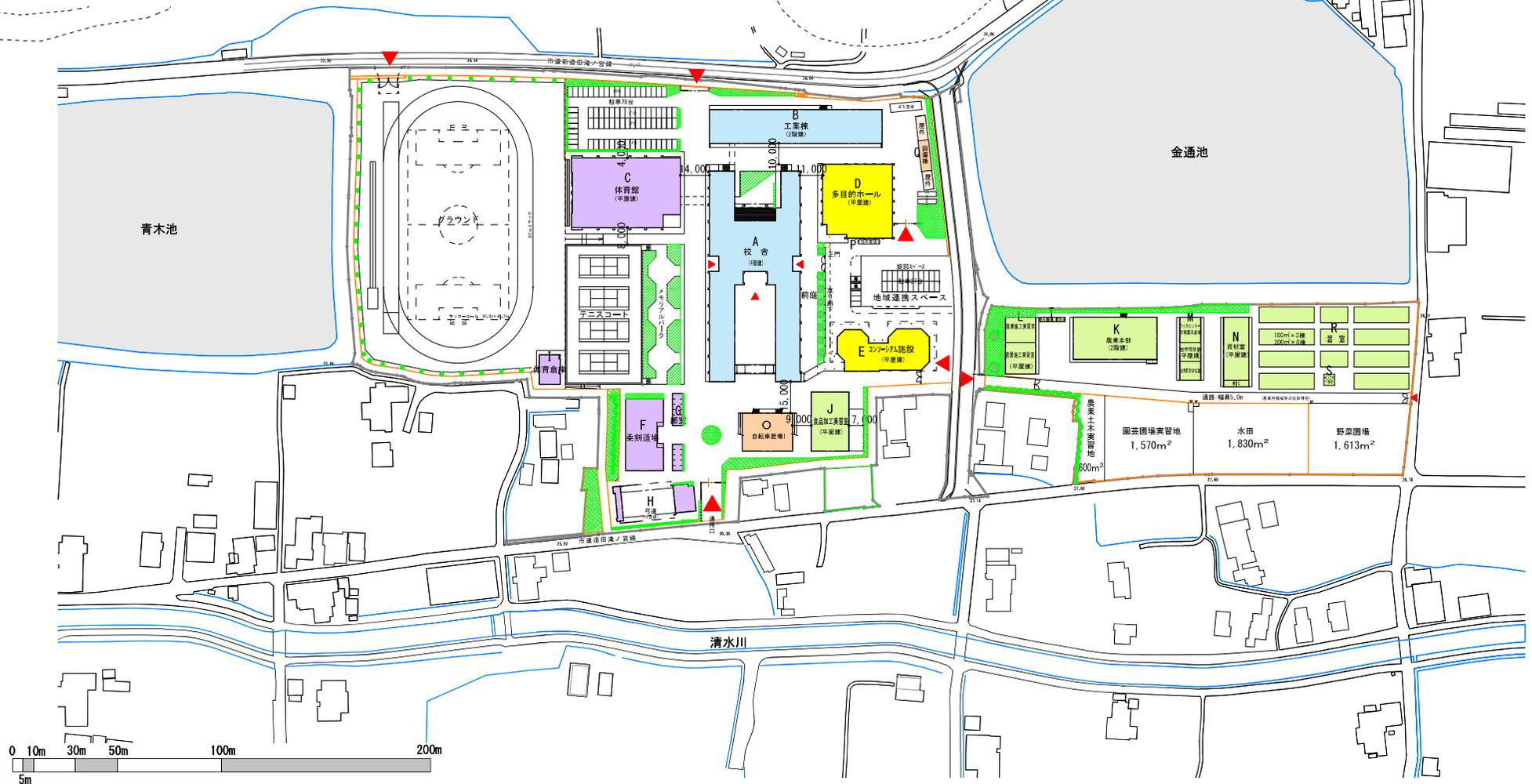
(8) 施設配置

校用地を東西に横断する道路を整備し、道路南側に農業実習地を配置、道路北側に正門、校舎、実習施設、体育施設、コンソーシアム施設、グラウンド等を配置した。

- ・校用地南側：農業本部、実習施設（農業施工実習室、造園施工実習室）、農業実習地等
- ・校用地中央：校舎棟、実習施設（工業棟、食品加工実習室）、コンソーシアム施設、多目的ホール等
- ・校用地北側：体育施設（体育館、柔剣道場、弓道場、部室等）、テニスコート（4面）、グラウンド（陸上（300mトラック）、サッカー）等

全体配置図

凡例	施設
	校舎・実習室施設
	体育施設
	農業本部・農業実習施設
	地域連携スペース
	附帯施設
	緑地



北



体育館

校舎

工業棟

柔剣道場

多目的ホール

コンソーシアム施設

農業本部

農

業

実

習

地

温室

南





校舎

多目的ホール

正門

コンソーシアム施設

